



【理念】 「人と自然の健康と調和を大切にする医療を実践します」

■発行所 / 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター
■発行責任者 / 事務部長 小野寺 正逸

札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1-1 電話 .(011)611-8111 / FAX.(011)611-5820
ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc/>



Greeting-01

統括診療部長
長尾 雅悦

地域医療支援 病院としての 取り組み

北海道医療センターは、病気になってもお住まいにできるだけ近いところで安心して医療を受けていただけるように、地域の「かかりつけ医」の皆様と役割を分担して診療する事に力を注いでおります。このような取り組みが認められて、平成25年9月1日より「**地域医療支援病院**」として北海道より承認いただきました。

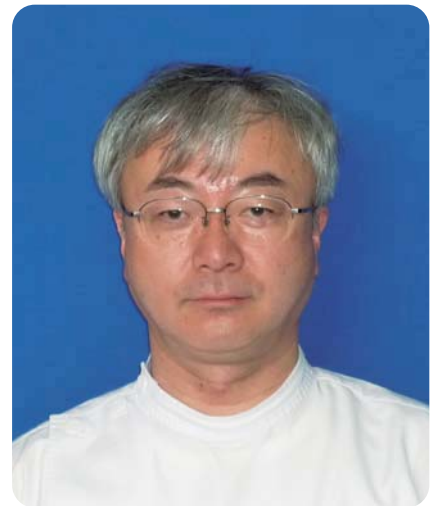
日常的な医療を担う「かかりつけ医」と救急や重症な病気を担当する「病院」とが役割を分担して、西区やその周辺地域で連携することを「地域医療」といいます。以前はちょっとした体調不良や風邪でも「とりあえず大きな病院で診てもらおうと安心だから行こう」という風潮が強くみられました。しかし、そうするとたくさんの患者さまが病院に集中し、診察までの待ち時間が長くしかもゆっくりと診察できない障害が生じてきました。いつも診ていただいている「かかりつけ医」の先生ですと、患者さまの普段の状態や病歴をご存知ですので、このまま家で治療を続けてよいのか、あるいは入院した方がよいのかを適切に判断できます。このように地域医療としてそれぞれの役割を果たすことにより、無駄な検査や治療を省き、医療費全体を下げるメリットがあります。

地域医療支援病院には4つの大きな役割があります。①「かかりつけ医」から紹介された患者さまに適切な医療を行う、②病院の設備や機器を「かかりつけ医」と共同利用すること、③救急医療、④地域の医療従事者の研修。さらに病棟の開放病床を利用されると、登録いただいた「かかりつけ医」と一緒に入院の診療ができます。患者さまには院外と院内の2人の主治医がいるので安心して治療を受けられます。地域医療連携室には4人のソーシャルワーカーが在籍し、様々なご相談にきめ細やかに対応いたします。

今回、**地域医療支援病院**に承認されたことを患者さまのメリットとすることが私達の使命です。「かかりつけ医」から高度な医療が必要、緊急な処置を要すると診断された患者さまに当院の機能が最大限発揮できるよう努めます。また救急隊との連携を密にし、救急医療を一層充実させて参ります。今後ヘリポートが整備され、安全で迅速な患者搬送移送体制が確保されます。将来的には「かかりつけ医」との共通媒体による診療情報の管理や画像転送システムにも取り組んでいきたいと考えております。皆様に慕われ地域に信頼される笑顔に満ちた病院となるよう職員全員で取り組んで参ります。

神経内科

Workspace introduction-1



神経内科医長
土井 静樹

看護師募集中

Information



あなたのキャリアアップを
全力で支援します!!

連絡先

TEL:011-611-8111
(内線 6150)

診療科の紹介

婦人科は常勤医 4 名と女性医師外来担当非常勤医師 1 名で診療を行っており、①低侵襲手術、②悪性腫瘍手術、③婦人科救急、④女性医師外来、以上 4 つを柱とし、主に腹腔鏡による低侵襲手術の実践と、子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの悪性腫瘍治療に取り組んでいます。

特に腹腔鏡手術に関しては、日本産科婦人科内視鏡学会および日本内視鏡外科学会技術認定医が 3 名在籍し、臍と下腹部横に 3～5mm 程度の傷、計 2 カ所の小さな傷だけで行う 2 孔式手術をほぼ

当科で行う主な治療および検診

- ① 子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの悪性腫瘍治療
広汎子宮全摘術、リンパ節郭清術、抗癌剤による化学療法、提携病院と連携しての放射線療法や緩和医療など
- ② 子宮筋腫・卵巣腫瘍等の良性腫瘍に対する腹腔鏡手術
腹腔鏡による子宮全摘術、筋腫核出術、卵巣腫瘍摘出術など
- ③ 子宮外妊娠・卵巣出血などに対する主に腹腔鏡による緊急手術
- ④ 子宮脱・膀胱瘤等の高齢女性に対する手術
- ⑤ 子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌各検診

神経内科とは中枢神経(脳・脊髄)や末梢神経(脳神経・脊髄神経など)の不具合を診る診療科です。

これらに由来する疾患の特徴は、疾患による症状が頭痛やめまい・脱力などを呈し、発症することにより日常生活や社会生活に直接影響がおよぶことがあります。

したがって、診療に当たっては「病気」を診るだけでなく、その患者さまのこれまでの生活を視野に入れることが必要になります。それを行うには医師のみならず、看護・リハビリ・医療連携室などの部門に加え、時には他の医療機関との連携が求められます。

現在、当院神経内科は、他の医療部門や医療機関の協力のもとに、外来診療と2個病棟・80床の入院患者さまの診療に当たっています。患者さまには、国で定めた特定疾患といういわゆる「難病」に指定されている方が多く、そのお住まいは全道にわたっています。

私たちは、今後とも近隣の方々の日々の診療に関わるとともに、北海道全域の医療を支える施設としての責任を全うしていきたいと考えています。

Workspace introduction-2

全ての腹腔鏡手術に適用しています。

また術前自己血貯血や術中希釈式・回収式自己血輸血を積極的に取り入れ、輸血0を目指した低侵襲手術を行う一方、宗教上の理由や信教的に輸血を拒まれる方々の手術も積極的に行っています。



副手術部長
(婦人科医長)
齋藤 裕司

婦人科

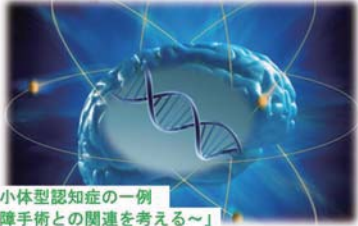
**医療関係者対象
の報告会です。**

独立行政法人 国立病院機構
北海道医療センター

第17回 地域医療連携 症例報告会

日時：平成25年11月12日(火) 18:30～19:30
場所：国立病院機構北海道医療センター 5階 大会議室
(札幌市西区山の手5条7丁目 Tel: 011-611-8111)

講演 18:30～19:30
(途中 質疑応答)



症例報告

1. 精神科
「幻視の著明な改善を認めたレビー小体型認知症の一例
～白内障手術との関連を考える～」

◎神 慶太、石井 純、荻 智香子、松永 力
金 学海(眼科)、中村 佳代子(眼科)

2. 小児科
「ファブリー病の診療・遺伝カウンセリング
～小児遺伝代謝センターにおける先天性代謝異常症の診療～」

◎田中 藤樹

この研修会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(1.0単位)として開催いたします。【カリキュラムコード 29(認知症の障害) 75(脂質異常症)】

- 本講座は、北海道医師会が生涯教育制度に則り参加された方々のデータを登録いたします。
- ご芳名、医籍登録番号の記載にご協力下さいますようお願いいたします。
- ご記入いただきました情報は、本講演会実施報告書の作成のみに使用いたします。

初期臨床研修

Report-01

臨床教育研究副部長

野崎 浩司



臨床教育研修部より、当院の初期研修医についてご紹介させていただきます。当院には9月20日現在、10名の初期研修医が在籍しており、各診療科を1～3ヶ月単位でローテーションしながら日々、知識や技術の研鑽に努めております。

現在の臨床研修制度は平成16年度から始まった制度で、目的は「2年間の研修で専門に関わらず幅広い病気やケガに対応できる医師を育てること」であり、当院も開設初年度から研修医の受け入れを積極的に行っております。

彼らは、各診療科で学びつつ、先輩医師からミニレクチャーを受けたり、月1回の報告会で自分が経験した病気について学んだことを発表したり、トレーニング機器で医療技術の練習などに日々励んでおります。皆様の中には、「研修医がいる病院は嫌だ、行きたくな

い」と思われる方がいるかもしれませんが、全国的に「研修医が集まる病院＝病院の指導体制、システムが構築されている」ということになっておりますので、ご安心下さい。とは言え、彼らは医師としてはまだ卵からヒヨコになったばかりです。患者様やご家族の皆様にご迷惑がからないような研修・診療体制作りをしてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

追記：ちなみに、現在の初期研修医は昔（大昔？）のインターン制度とは違い、医師免許を持っておりますので、先輩医師からの許可があればどんな治療にも関わることが可能となっております。

「西さっぽろ癌談話会」は、札幌市西地区の癌診療における病診連携、医療従事者の癌に対する理解を深める目的で、平成12年に国立療養所西札幌病院に設立されました。

今年は9月26日(木)に「第14回西さっぽろ癌談話会」を札幌西地域の医師、看護師、コメディカルなどの医療従事者70名が、札幌ホテルヤマチに集まり開催されました。

開会の辞は札幌市医師会西区支部長・医療法人札幌第一病院長の嵐方之様、一般講演は北海道医療センター地域医療連携室のMSW太田恵子様、一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団札幌西訪問看護ステーション吉村祥子様にご講演していただき、特別講演を北海道大学大学院医学研究科外科学講座消化器外科学分野I教授の武富紹信様の「肝臓外科医からみた大腸

Report-02

管理課長
若崎 由

癌肝転移に対する治療戦略」の貴重な講演をしていただきました。

参加された医師の皆様から「最新の知見が分かり大変興味深かった」「北大1外の大腸癌オペ、大腸癌肝転移のオペ法が興味深かった」などの感想をいただいた他、一般講演は「退院支援の成功例について知ることが出来て良い機会となった」などのお話を聞くことができました。



第14回 西さっぽろ 癌談話会を 終えて





3-4 病棟

看護師長

大塚 美奈子

3-4病棟は消化器内科・外科の病棟で病床数は46床と、そのほかに手術後などの患者を観察させていただきリハビリ室が4床あり、計50床の病棟です。スタッフは看護師長1名と副看護師長2名、看護師26名と助手2名で構成されており、内科医師7名、外科医師8名と協力しながら患者の治療、看護を行っています。消化器内科の主な疾患としては、胃腸炎・保存的イレウス・胆石胆のう炎・肝疾患・膵炎などが多く、内視鏡検査やイレウス管挿入介助と挿入後の観察、PTCD（経皮的胆管胆道ドレナージ）や肝生検の介助などを行なっています。また、ポリープ切除の患者も多く、処置前後を診させていただいています。外科手術はクリティカルパスに沿い、ヘルニア根治術・胃切除術・腸切除術・人工肛門造設術・膵頭十二指腸切除術などが多く術前術後の看護を行っています。

最近では、腹腔鏡下での手術が多く行われるようになり早期退院が可能となりました。化学療法の患者も増え学習会にも力を入れています。また、人工肛門造設後の患者が退院後、早期社会復帰ができるよう、またはQOLを下げないようにスタッフは積極的に勉強会などに参加し、その知識を伝達しています。

今後もより良い看護が提供できるよう、そして、より良い病棟になるよう、他職種とも連携をはかりながら頑張っていきます。よろしくお願いします。

Workspace introduction-1

職場紹介

看護師長

太田 真澄

Workspace introduction-2

4階南棟にある4-4は神経内科の病棟で、難病の患者様が入院されています。病床数は40床ですが、現在改修工事を行っており2床増床予定です。病棟スタッフは医師8名、看護師長1名、副看護師長1名、看護師22名、看護助手2名で安心・安全で心温まる医療・看護を提供するために日々頑張っています。

神経内科の専門医がたくさんおりますので、全道から患者様がいらしています。病棟には厚生労働省で定められた特定疾患の患者様を中心に、パーキンソン病、重症筋無力症、筋委縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、多系統委縮症、クロイツフェルト・ヤコブ病、その他検査入院など特定疾患の対象ではない患者様も入院されています。

看護師は治療の介助や、患者様の気持ちになって日常生活の援助を行い、安全な看護を提供させて頂き生活の質を維持・向上できるように支援させて頂いています。

そして在宅療養に向けて、地域連携室と協働し訪問看護ステーションなど地域との連携を図り退院調整をして家での生活がスムーズにできるようお手伝いさせて頂いています。

病気の為、急に動けなくなり不安になっている患者様や、長い間病気をもちながら頑張っている患者様や御家族に対して、医師や看護師は安心して入院生活を送れるよう心を配り対応させて頂いています。





健康教室 「インフルエンザ」 を終えて

Report-01

臨床検査技師長
印部 俊雄

平成 25 年 8 月 27 日、第 2 回健康教室でインフルエンザについてお話ししました。

この企画依頼の時、丁度 A 型 H7N2 の鳥インフルエンザが中国で流行している時期であり、また 2009 年の A 型 H1N1 pandemic が札幌で流行し出したのも 8 月末ということもありこのテーマでお話しすることとなりました。

お話は、インフルエンザの歴史という事で平安時代からの史書にある記述や 18 世紀の西洋の状況、20 世紀初頭のスペイン風邪のお話から免疫のない新型のインフルエンザでは多くの死者が出る可能性があり WHO や厚生省が躍起になって対策するゆえんであることをお話ししました。

その後、ウィルスの性質を説明し、飛沫感染や接触感染をするため、予防や流行を避けるためにマスクや手洗いが必要なことをお伝えしました。

最後にインフルエンザの治療薬のお

話をして、患者様にあわせた薬の選択がされることをお話しして終了しました。時間超過にもかかわらず熱心に聞かれている方もおり、小職も改めて勉強する良い機会を与えていただきありがとうございました。



**日本医療マネジメント学会
第13回北海道支部学術集会**
病院のクライシスマネジメント～その時どう対応するか～

- 会期 平成25年11月3日(日)
- 会場 札幌国際ビル
〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1 TEL:011-241-9020
- 会長 伊藤 美夫 (北海道医療センター 副院長)
- 学会事務局 独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1-1
TEL: 011-611-8111(5/31) FAX: 011-611-5820
- 運営事務局 マイス株式会社
〒060-0041 札幌市中央区大通東7丁目18-2
EAST7ビル5F
TEL: 011-280-8008 FAX: 011-280-4000
E-mail: contact@13th-jhm.hkdo.jp
- 参加費 日本医療マネジメント学会
会員1,000円/非会員3,000円
※当日会場にて申し受けます。
- 学会HP <http://13th-jhm.hkdo.jp>

Information

日本医療マネジメント学会
第13回北海道支部学術集会

学会事務局
北海道医療センター



平成25年8月2日(水)当センター大会議室において、第3回がん化学療法講演会が開催されました。

今回はJR札幌病院顧問寒河江悟先生をお招きし、「婦人科がんに関する化学療法と外来化学療法について」と題してご講演いただきました。出席者は院外より、医師2名、保健師2名、看護師10名、MSW1名。

院内より、医師11名、看護師27名、薬剤師8名、MSW1名、MA2名、事務2名の、総数69名参加いただきました。本講演では、婦人科がんに関する最新の臨床研究結果や、新レジメンを含む新たな治療法、外来化学療法のクリティカルポイント、そしてJR札幌病院での外来化学療法室の実務について、専門性も高くなおかつ対象職域の広い講演内容でした。当センターの外来化学療法室も4年目を迎え、また今年よりがん化学療法認定看護師2名の配属も予定されています。

そういった中で今回の講演は、当センターにおいてはタイムリーな話題であり、今後の外来化学療法室の効率的な運営方法や、安全な化学療法を行う上でのリスク低減策など非常に参考となる内容でした。

**第3回
がん化学療法講演会を
終えて**

Report-02

副薬剤科長
(がん化学療法委員会事務局)

藤村 裕之

当院は救命救急センターを併設した、地域災害医療センター（道指定）・災害時基幹指定病院（市指定）・二次救急医療機関（道・市指定）・北海道 DMAT 指定医療機関（道指定）などの公的機能が指定された病院です。

9月13日（金）に、日本の救急関連学会で数多くの評議員を務められ、救急隊教育、災害医療やプレホスピタルケア（ドクターカー、ドクターケア）の第一人者である、但馬救命救急センターの小林誠人センター長を招き「EMERGENCY MEDICINE 24 hours -For Trauma, Shock and Everyone-」のテーマで院内講演をしていただきました。

先生はTBS「情熱大陸」をはじめ、NHK「Deep People」、その他多くのメディアで紹介されています。05年のJR福知山脱線事故の際は県災害医療センター医師として現場で指揮にあたり、10年には兵庫、京都、鳥取の3府県が合同事業として、日本海側で初となるドクターヘリを導入した際の、初代、公立豊岡病院但馬救命救急センター長として活躍されています。

当院が昨年導入したドクターカー、そして今年導入予定のドクターヘリの運航に向けて大変参考になる実のある講演会でした。



Report-03

管理課長
若崎 由

救急医療講演会
を終えて



ミシェーラ室内アンサンブル ロビーコンサートを終えて

Event-01

管理課長
若崎 由

8月3日（土）、札幌市内の医療機関で勤務する方を中心に構成された「ミシェーラ室内アンサンブル」さん、フルートソロ演奏者の住吉さんによるロビーコンサートが開催されました。
この機会を待ちに待っていた、患者様や家族の皆様からロビーいっぱい拍手が鳴り響きました。
とても素晴らしい音色に、心透きとおる一時を過かさせていただきました。

10月のコンサートは



ヴァイオリン・チェロ・ピアノによる 秋の和みコンサート

日時 10月25日（金）16時から

場所 北海道医療センター外来ホール

演奏者：ヴァイオリン：高井 みなと

チェロ：加藤 康子

ピアノ：三浦 真奈

演奏曲：日本の歌メドレー、愛の挨拶、
アマポーラ、ジェラシーなど



北海道医療センター

ミシェーラ室内アンサンブルさんの演奏風景



当院では年間をとおして
ボランティアコンサートを
募集しております。



連絡先

TEL:011-611-8111
(内線 5130)

附属札幌看護学校 学校祭

Event-02

教員
千田 和美

9月14日土曜日に第5回SNS(Sapporo Nursing School)祭を開催しました。今年のテーマは「縁JOY」で皆が楽しく喜んでもらえる学校祭にしたいという願いが込められています。

多くの方々に楽しんでもらえるように、当日まで準備をすすめてきました。朝は、あいにくの雨模様でしたが、一般公開の開始とともに雨もあがりました。初の土曜日開催ということもあり、地域の方々など140名以上の方が参加してくださいました。SNS祭では、学生が企画・運営を行い様々な催しを実施しました。

看護体験では手洗い講座や血圧測定・モデル人形を使って心音や呼吸音の聴取などを行いました。バザーや焼き鳥・焼きそば、スイーツなどの模擬店も出店し食品販売を行いました。昼食時には行列ができるほどでした。学生の歌やダンスのパフォーマンスもあり、一生懸命練習をした成果を発表し盛り上がりました。お越しいただいた方々にも楽しく喜んでいただくことができました。SNS祭は学生の笑顔とパワーがあふれる1日になりました。



編集後記

管理課長 若崎 由

10月5日(土)に病院裏の三角山に登りました。すると、雪の妖精「ユキムシ(トドネオオワタムシ)」を発見、ユキムシが飛び出すと1ヶ月程度で雪が降るといふ言い伝えがありますが、今年の初雪は早く降るのでしょうか。近日、10月5日(土)に開催した「第1回 北海道医療センターいきいき三角山フェスタ」特集号を発行する予定です。お楽しみに。



外来担当医師一覧

平成25年10月1日現在

外来受付時間 午前 8:30~11:00 / 午後 1:00~3:00 (一部の科のみ)
 ※土・日・祝日は休診 ※内科の午後は完全予約制

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考		
内科	リウマチ科 (膠原病)	午前 市川 午後 ー	竹内 市川	市川 ー	竹内 市川	市川 竹内	午後は完全予約制	
	呼吸器内科	午前 小倉 午後 中山	山本 ー	中山 ー	小倉 綱島	山本 ー	午後は完全予約制	
	呼吸器内科②	午前 ー	鎌田	綱島	ー	鎌田	午前診療のみ	
	糖尿病・脂質代謝内科	午前 中垣 担当医 午後 中垣	加藤(雅) 担当医 加藤(雅)	加藤(雅) 担当医 加藤(雅)	加藤(雅) 中垣 加藤(雅)	加藤(雅) 担当医 中垣	火・水・金曜日の担当医は オンコール対応 午後は完全予約制	
	消化器内科	午前 中原(初診) 大原 午後 田中(道)	田中(道)(初診) 木村 武藤(修)	渡邊(初診) 大原 中原	武藤(修)(初診) 木村 馬場	馬場(初診) 渡邊 大原	初診/再診 完全予約制 完全予約制	
	腎臓内科	午前 宮本(兼)(再診) 午後 ー	石川(初診)	山村(初・再診) 齋藤(快)(再診)	山村(初・再診) 山村(再診)	中沢(初診)	月曜日午後は再診のみ	
	循環器内科	午前 岡本(初診) 本間 佐藤(不整脈) 岡本 午後(予約) 武藤(晴)(SAS) 佐藤(不整脈)	寺西(初診) 井上(仁) 金子 寺西 井上(仁) 金子	佐藤(初診) 寺西 竹中 岡本 寺西 竹中	岡本(初診) 小松 藤田 岡本 武藤(晴)(SAS) 藤田	竹中(初診) 寺西 武藤(晴) 竹中 ベースメーカー外来	初診/再診 再診(予約制) 再診(予約制) 午後は完全予約制 ※SAS=[睡眠時無呼吸 症候群]の 専門外来(予約制)	
		午前 藤木 新野 午後(一般) ー 午後(専門) 難病相談外来	菊地(誠)(再診) 土井 宮崎 藤木 菊地 (パーキンソン専門外来)	南 新野 ー ー 多発性硬化症専門外来	南 新野 ー ー	土井 藤木 ー ー	南 菊地(誠)(再診) 宮崎 秋本	月曜日午後の 難病相談外来は北海道 難病医療ネットワークからの 紹介患者様に限る 午後は完全予約制
		外科	午前 高橋(宏) 午後 高橋(宏)/乳がん検診	蔵谷 蔵谷	伊藤 菊地(健)	植村 ー	第4週:高橋(宏) 第4週以外:柴田 第4週:高橋(宏)	月曜日午後 札幌市乳がん検診 火・木曜日午後は完全予約制 第4金曜日はストーマ外来
	呼吸器外科	午前 井上(瑛)	ー	大坂	ー	大坂(偶数週) 井上(瑛)(奇数週)	午前診療のみ	
心血管外科	午前 ー	石橋(初診) 川崎	ー	石橋(初診) 森本	ー	ー		
整形外科	午前 新納 宮城 午後(予約) ー	宮城 ー	高橋(士) 新納 高橋(士)	高橋(士) ー	宮城 新納	初診/再診 再診 午後は完全予約制		
リハビリテーション科	午前 高橋(士)	ー	ー	ー	ー	午前診療のみ		
脳神経外科	午前 安喰 午後 ー	安田	宮本(倫)	牛越	ー	木曜日午後は専門外来 [完全予約制、初診は紹介のみ]		
小児科 (小児腎臓病センター) (小児遺伝代謝センター)	午前(一般)	荒木	長岡	長尾	荒木	田中(藤)	完全予約制 紹介又は予約制 完全予約制	
	午前(専門)	長尾(神経・成長発達)	荒木(腎臓)	長岡(腎臓、第1・4・5週) 荒木(腎臓、第2・3週)	田中(遺伝・代謝・ 遺伝カウンセリング・奇数週) 長岡(腎臓、偶数週)	長尾(アレルギー)		
	午後(紹介・予約制)	田中(藤)	森井	長岡	森井	長岡		
	午後(専門)	長岡(腎臓)	田中(藤) (遺伝・代謝・遺伝カウンセリング)	若井(脳波・神経、第1・2・3週) 荒木(腎臓)	森井(小児保健)	荒木(腎臓)		
泌尿器科	午前 第2・4月曜のみ 笹村	笹村	担当医	笹村	笹村	午前診療のみ 午後は検査・手術		
婦人科	午前 内田(初・再診) 齋藤(裕)(再診) 午後 ー	大隅(傷の小さな外科手術) 河井(再診)	齋藤(裕)(初・再診) 齋藤(裕)/大隅(再診)	女性医師外来 10:00~14:00	河井(初・再診) 河井/大隅/ 内田(再診)	木曜日は女性医師による 診察 午後は完全予約制		
皮膚科	午前 廣崎(予約制) 塚本(予約制) 午後(専門) 褥瘡専門外来	塚本(予約制) ー 廣崎(アレルギー・腫瘍)	廣崎 塚本 廣崎(予約制)	廣崎 塚本 ー	廣崎(予約制) 塚本(予約制) ー	午後は紹介予約専門外来 [火曜日午後は第3週を除く]		
耳鼻咽喉科	午前 鈴木/前田 午後 鈴木/前田	担当医	ー	鈴木/前田	鈴木/前田	火曜日完全予約制		
眼科	午前 中村/金(ソシ)	中村/金(ソシ)	中村	中村/金(ソシ)	中村/金(ソシ)	午前診療のみ 午後は検査・手術		
精神科	午前 担当医(初診) ー	松永(初診) 萩(再診)	萩(初診) 神(再診)	石井(初診) 松永(再診)	神(初診) 担当医(再診)	当院入院中の方のみ		

※都合により、代診・休診となる場合がございますので、事前にお電話にてご確認ください。(代表 011-611-8111)

北海道医療センターニュース

山の手だよ!!

No.9

2013年10月発行



独立行政法人 国立病院機構

北海道医療センター

〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号

TEL.011-611-8111 北海道医療センター

検索

